

柏崎刈羽原子力発電所 指摘事項に対する回答整理表(工認)(重要度分類、既工認からの構造変更)

提出年月日:2020年8月6日  
東京電力ホールディングス株式会社

NO	図書			指摘日	コメント内容	回答日	状況	回答	資料等への反映箇所	備考
1	—	V-2-1-4重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針	P10	2019/11/6	設計基準対象施設のクラス別施設について、許可段階から除外された施設や名称変更がなされた施設についてはその根拠を説明すること。	2020/4/1	回答済	今回工認と設置許可との変更点とその理由について補足説明資料に整理しました。	KK7 補足-024-9 改0 設計基準対象施設のクラス別施設に関する設置変更許可及び建設時工事計画認可からの変更点 P.1~3.5~9	
2	V-2-1-4	先行審査プラントの記載との比較表(V-2-1-4 重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針)	P10	2019/11/6	設計基準対象施設のクラス別施設の表について、東海第二と比較して説明すること。	2020/4/1	回答済	東海第二との相違点を比較表に反映しました。	KK7 添-2-004 改2 先行審査プラントの記載との比較表(V-2-1-4 重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針) P.10~16	
3	—	V-2-1-4耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針	—	2019/11/6	設計基準対象施設のクラス別施設について、建設工認から重要度分類が変更になったものについて説明すること。	2020/4/1	回答済	建設工認から重要度分類が変更となった設備について補足説明資料に整理しました。	KK7 補足-024-9 改0 設計基準対象施設のクラス別施設に関する設置変更許可及び建設時工事計画認可からの変更点 P.4	
4	—	V-2-1-4重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針	P.6相当	2020/4/1	表2-1の「波及的影響を考慮すべき施設」に制御棒貯蔵ハンガ及びチャンネル着脱機が記載されていないことについて、「波及的影響検討」側の検討結果にしたがい、必要に応じ追加して説明すること	2020/6/3	回答済	2020/05/22に実施した、「KK7補足-024-3下位クラス施設の波及的影響の検討について」の補足説明資料にて、制御棒貯蔵ハンガ及びチャンネル着脱機が波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設ではないことを説明しており、本資料へ追加する事項はありません。	—	
5	—	先行審査プラントの記載との比較表(V-2-1-4 重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針)	比P.16	2020/6/3	サブプレッションチェンバ内の主蒸気逃がし安全弁排気管について、地震により損傷した場合の蒸気凝縮機能を踏まえ、主蒸気逃がし安全弁排気管の耐震重要度分類を整理して説明すること。	2020/7/3	回答済	設計基準対象施設の耐震重要度分類に対するクラス別施設の表にSクラスとして明確に記載がないため、注記に基準地震動Ssで評価している旨、修正しました。	・KK7添-2-004 改4 V-2-1-4 耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針 P.10 P.16(比較表) ・KK7補足-024-9 改2 設計基準対象施設のクラス別施設に関する設置変更許可及び建設時工事計画認可からの変更点 P.3.9	
6	—	機器・配管系の設備の既工認からの構造変更について	p1	2020/7/3	「表1 既工認からの構造変更実績のある設備の一覧表」に示される設備について、改造の目的を整理して説明すること。また、残留熱除去系配管及びサポートは、配管、空調ダクト等の長尺設備の代表例であることを説明すること。	2020/7/20	回答済	・構造変更の目的を明確に記載しました。 ・設備名称を配管本体及びサポートとし、代表例を残留熱除去系配管と記載しました。	KK7補足-028-10-34 改1 機器・配管系の設備の既工認からの構造変更について (P.1.3-8) (P.1.8)	

柏崎刈羽原子力発電所 指摘事項に対する回答整理表(工認)(重要度分類、既工認からの構造変更)

提出年月日:2020年8月6日  
東京電力ホールディングス株式会社

NO	図書		指摘日	コメント内容	回答日	状況	回答	資料等への反映箇所	備考
7	—	V-2-1-4重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針	—	2020/7/3	「表2-1 設計基準対象施設の耐震重要度分類に対するクラス別施設」の主蒸気逃がし安全弁排気管(Bクラス)に対する注記*10について、設計基準対象施設として、ドライウエル内をBクラス(基準地震動Ss)に対して機能維持)、サブプレッションチェンバ内をSクラスとした考え方を整理して説明すること。 また、重大事故等対処設備として、ドライウエル側及びサブプレッションチェンバ側の全体をクラス2とした考え方と比較して説明すること。		追加回答 ・SRV排気管の耐震クラスについての考え方を整理しました。 ・8/7追加回答 SA流路の設定の考え方について、記載を追加しました。	KK7-070 改0 主蒸気逃がし安全弁排気管の耐震クラスについて  KK7-070改1 主蒸気逃がし安全弁排気管の耐震クラスについて 別紙	7/20回答済